

行政視察報告書

委員会名	議会運営委員会
派遣委員	副委員長 匹田 郁 委員 安東 鉄男 委員 河野 巧 委員 匹田久美子 委員 梅田 徳男 委員 戸匹 映二 委員 大塚 州章 議長 内藤 康弘
日 程	令和7年1月29日（水）
視 察 先	愛媛県八幡浜市議会
調査項目	議会改革及び議会用タブレット端末の具体的な運用方法について

1. 調査目的

白杵市議会において、令和6年9月定例会から議会タブレット端末の運用を開始し、円滑かつ効果的な取り扱いについて、協議検討を行いながら活用を図っているところです。タブレット端末の有効活用及び今後の議会改革に向け、すでに議会用タブレット端末を導入し活用を図り、また、議会改革を推進している愛媛県八幡浜市議会への行政視察を実施しました。

2. 調査内容

（1）視察先の概要

愛媛県八幡浜市は、愛媛県の西部、佐多岬半島の基部に位置し、人口が約3万2千人、面積が132.65km²で、平成17年3月28日に1市1町が合併した市です。宇和海と瀬戸内海に臨み、海岸線はリアス式海岸を形成し、急傾斜が海岸までせり出した地形を利用して段々畑で柑橘類の生産が盛んに行われています。九州と四国を結ぶ連絡港として、白杵市及び別府市との間にフェリー航路が就航されており、四国の玄関口としての交通の要衝となっています。白杵市とは、市職員の人事交流を行うなど、特に深いかかわりを持つ自治体です。

（2）調査結果

① 近年取り組んだ議会改革について

八幡浜市議会では、議会改革として、議員報酬と議員定数の見直しを行っていました。議員報酬については、八幡浜市特別職報酬等審議会に現状等を踏まえふさわしい報酬額となるよう見直しを要望し、実現しています。また、議員定数については、報酬の見直しに応える形で検討を行うため、議会改革特別委員会を設置、市民アンケートの結果等を踏まえて検討を行った上で、最終的には採決の結果、1名減の定数15名とするよう決定したとのことでした。

② 議会用タブレット端末の具体的な運用について

八幡浜市議会では、令和3年9月に議会用タブレットを議員16名分、事務局5名分、計21台を導入しています。会議システムはSideBooks、グループウェアはラインワークスを使用し、会議システムは、定例会、常任委員会等の会議で使用し、議案書や資料等を閲覧してい

ます。グループウェアでは、各種通知など議員への連絡の電子化を図り、特に執行部から議員への通知文書の一部は、PDFファイルを添付する運用としていました。

ペーパーレス化は、導入2年経過後の令和5年9月から資料の内容等を踏まえ計画的に実施しており、令和6年12月定例会から完全ペーパーレス化を行っていますが、希望のある一部の議員には、紙資料を準備しているとのことでした。

タブレット端末のデータについては、必要に応じて電子メール等で、個人のパソコン等の端末へ転送が可能で、その資料は転送先で印刷することを許可しているとのことでした。

議員個人ごとのスキルアップについては、研修会としては実施していないが、問い合わせの際に個別にレクチャーしたり、便利な利用方法などについては、ラインワークスの掲示板で周知を図ったりしているとのことでした。

3. 委員会の所感

議会改革については、議員定数の検討において、様々な観点から丁寧な議論をすることが有効だと感じました。臼杵市議会でも特別委員会を現在設置しており、参考にできれば感じました。

タブレット端末について、本会議など、議会での使用は、大きな差異を感じないものの、無理なくゆっくりと導入をしている印象があり、ペーパーレスについても時間をかけて行い、現状でも紙資料を希望する議員には対応しているとのことでした。

臼杵市議会では、研修等によりタブレット端末の習熟度を上げることで、完全ペーパーレスに移行してよいのでは感じました。

資料の印刷については、議員活動の中でも説明資料として必要となる場合もあるので、電子メール等を使用し、個人PCから印刷を可能にするなどの対応も今後、検討する必要があるのではないかと感じました。

八幡浜市は、執行部の人事交流やフェリーが行き来していることもあり、親近感を持ちました。今後も、様々な交流の機会を設け、お互い素晴らしいところを学びあい、大いに取り入れることができればと感じました。

4. 視察状況

